

ショートフィルムにみる日本の文化

実施日：平成28年2月29日～3月6日 於：モロッコ

■ 派遣専門家



東野正剛
ショートショート
フィルムフェスティバル & アジア
フェスティバル・ディレクター

カリフォルニア州ペーパーダイン大でジャーナリズムを専攻。卒業後、渡仏。以後、ロサンゼルスでショートフィルムの制作、ハリウッド映画の製作に携わり、2000年から「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」の事務局長。現在は、同映画祭のフェスティバル・ディレクターとして、日本のショートフィルムの海外への発信にも積極的に取り組まれています。

■ 事業概要

● 大使公邸講演会



東野ディレクター、黒川大使、ベムサ・マラクシュ国際映画祭理事、同夫人



モロッコ映画関係者を招いた講演会兼交流会

● ラバト



ラバト市内映画館「Salle 7eme Art」での上映会



国営テレビチャンネルの取材

● マラクシュ



マラクシュ高等映像芸術学校での講演会



映像学校の学生と、一般市民の方も参加

■ 実施結果

近年数々のハリウッド映画のロケ地誘致に成功し、国際的な映画祭も開催しているモロッコで、日本文化をショートフィルムを通じて伝える上映会を実施しました。「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア (SSFF & ASIA)」の上映作品の中から、「しゃぶしゃぶスピリット」「小春日和」「Oh Lucy!」「こころ、おどる～Kerama Blue～」の4本をラバトとマラクシュの2都市で上映。映画関係者との意見交換では、モロッコ映画作品のSSFF & ASIAへの応募や、映画関係者・学術関係者との交流促進が話し合われました。また、講演の様子は国営テレビチャンネルで放送されるなど、多数の取材が行われました。本事業への参加をきっかけに、「ルクソール・アフリカ映画祭」(エジプト)や「アラブ国際映画祭・ガベス」(チュニジア)等の映画祭への招待を受けるなどの交流が続いています。